

THE JAPANESE JOURNAL FOR

HISTORY OF PHARMACY

薬史学雑誌

Vol. 38, No. 2.

2003

—目 次—

総会講演

薬剤師と医師が激しく対立した大正期の医薬分業	天野 宏	129
医薬品産業ビジョンなど行政の動向	高山 昌也	134

原 報

江戸期越中反魂丹薬方について	大橋 清信	139
『和剂局方』痰飲篇の検討	中村 輝子・高野 奈緒・遠藤 次郎	144
炙甘草を中心にした薬対から『傷寒論』処方構成を探る	片貝真寿美・谿 忠人	151
キノロン系合成抗菌薬の開発と変遷	高橋 寿・早川 勇夫・秋元 健	161
衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の 100 年 (3)	服部 昭	180
『和剂局方』に見られる製剤の特徴	中村 輝子・宮本 浩和・遠藤 次郎	185
『傷寒論』の病期別の薬対から用薬規範を探る	片貝真寿美・谿 忠人	193
	(裏に続く)	

THE JAPANESE SOCIETY FOR HISTORY OF PHARMACY

c/o CAPJ, 4-16, Yayoi 2-chome,
Bunkyo-ku, Tokyo, 113-0032 Japan

薬史学誌

Jpn. J. History Pharm.

日 本 薬 史 学 会

史 伝

西洋諸語の薬局の語源いろいろ内林 政夫.....205

雑 録

江戸時代における容器のネジ口について服部 昭.....210

日本薬史学会ホームページ作成と今後の展望五位野政彦.....211

入会 申 込 み 方 法

下記あてに葉書または電話で入会申込用紙を請求し、それに記入し、年会費をそえて、
再び下記あてに郵送して下さい。

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

薬学会誌刊行センター 内 日本薬史学会 事務局

電話：03-3817-5821 Fax：03-3817-5830

郵便振替口座：00120-3-67473，日本薬史学会